

目次

□巻頭言 温故知新……………加藤 三重次/1

□海外よりの新年メッセージ

台湾のお正月行事……………中村 朗/4

クリスマスそしてピリピノ語……………田中 敬一/6

香港正月余談始め……………石山 朝香/8

インドネシア事始め……………松田 毅/10

シンガポールで迎える初正月……………金子 昌義/12

タイ国から“サワディー・ビーマイ”……………石戸 明/14

イラクのイスラムあれこれ……………山地 晃/16

ケニアの印象……………二宮 嘉弘/18

オランダより新年のあいさつ……………浅井 隆之/20

ブラジルからピンガで乾盃……………小沢 澄/22

コロンビア正月風景……………松崎 暉彦/24

テキサス三景……………内山 脩/26

極寒地向けブルドーザの開発……………小田部 喜三郎/28
井出 彰一

南極昭和基地における機械管理……………岡田 秀雄/33

寒冷地におけるせん孔機械……………三上 芳一/37

パプアニューギニアにおける建設機械の技術協力……………野崎 登/41

国際河川博覧会……………横田 穰二/46

◀表紙写真説明▶

TCM R 400 ロータリ除雪車
東洋運搬機株式会社

本機は昭和52年に開発され、空港、高速道路、春山除雪など幅広く活躍している高性能除雪機であり、次のような特長を有する。

- ① 410 PS のエンジンを搭載し、3,000 t/hr 以上の除雪能力を有する。
- ② ツーステージ型であらゆる雪質に対応できる構造を有し、最大除雪幅 2.6 m、最大除雪高さ 1.75 m の能力をもっている。
- ③ HST 駆動、パワーシフトトランスミッションにより運転操作が容易である。
- ④ 運転席はサスペンションシート、前面および天窓は熱線入ガラスを採用し、8,000 kcal/hr のヒータにより快適な運転ができる。
- ⑤ オプションとして除雪量を一定にするマイクロコンピュータによる自動走行制御装置を用意している。この装置を搭載することにより除雪量に応じ走行速度が自動的に変化するのでオペレータは投雪作業に集中できる。

◀本機の主な仕様▶

最大除雪量……………	3,000 t/hr
最大除雪幅……………	2.6 m
最大投雪距離……………	40 m
走行速度……………	前後進 8 段、最高 40 km/hr
エンジン出力……………	410 PS/2,000 rpm
運転整備重量……………	18,200 kg
除雪装置……………	ツーステージ型リボンスクリュー式

グラビヤ——昭和 58 年度建設機械展示会

昭和 58 年度 建設機械展示会（東京）見聞記……………川端 徹哉/49

昭和 58 年度 建設機械と施工法シンポジウム……………黒田 満穂/52

□新機種ニュース……………調査部会/56

□文献調査

文献目録紹介……………文献調査委員会/63

理事会の開催……………/67

□統計

建設投資推計ほか……………調査部会/68

行事一覧……………/69

編集後記……………（渡辺和・田辺・小宮山）/72